

SDGs ってなに？

サステナブル
Sustainable (持続可能な)
ディベロップメント
Development (開発)
Goals (目標)

4文字をとった略称です。

最近、「SDGs」(エス・ディ・ジーズ)という言葉
をテレビや新聞などで、見たり聞いたりすることは
ありませんか？

「SDGs」とは、地球上で起きている様々な課題を
解決するために国際連合で採択された世界共通の目
標で、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」など17の目標
を2030年までに世界で協力・達成を目指すものです。

また、17の目標には、169のターゲット(具体的な目
標)があります。

世界の目標と聞くと、個人は関係ないと思うかもし
れませんが、そんなことはありません。一人一人の小
さな取り組みが多く目標の実現につながります。

「広報あかびら」では、私たちができることをこれ
から数回に分けて考えていこうと思います。

なぜ取り組むの？

私たちの身近な課題

気候変動による自然災害、食品ロスなど



世界には、貧困・飢餓・環境問題など様々な
課題があります。

課題を解決することで、将来にわたって全て
の人が豊かで幸せに暮らし続けられる「持続
可能な」社会にしなくてはなりません。

また、今の経済や社会を維持し続けるため
だけの「開発」ではなく、より良く発展・進歩し
ていくため、お互いに関連し合った「目標」の
達成を目指す必要があります。

SDGsに取り組むこと

=子どもや孫たちに、よりよい世界を残すこと

「SDGs」17の目標



12 つくる責任
つかう責任



【目標12 つくる責任 つかう責任】

具体的な目標(一部抜粋)

- ◇世界全体の一人あたりの食料廃棄を半減させ「食品ロス」を減らす。
- ◇再利用やリサイクルを行ない、ごみの量を減らす。



食品ロスを減らそう

日本の食品ロス
年間570万トン

年間一人あたり
約45kg

一日一人あたり
茶碗1杯分



※農林水産省「令和元年度推計」より

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

これは、とてももったいないことです。私たち一人一人の心掛けで、食品ロスを減らしましょう。

【私たちにできること】

- 冷蔵庫や食品庫にある食材の確認
- 残っている食材から使う
- 食べる分だけ購入する
- 陳列棚の奥から商品をとらず、手前にある賞味期限が短いものから購入する
- 外食の際は、食べられる量だけ注文する など



ごみの量を減らそう

ごみを減らす取り組み「4 R」

- リフューズ
Refuse = 断る・買わない
- リデュース
Reduce = 減らす
- リユース
Reuse = くり返し使う
- リサイクル
Recycle = 資源として再生利用する

4 Rとは、上記の頭文字をとったごみを減らす取り組みのことです。

ごみの大量処分は、環境への悪影響があり、多額の費用もかかります。ごみの減量は、これらを軽減することができ、持続可能な社会の実現に貢献できる、最も身近な取り組みの一つです。ごみを減らすためには、一人一人の積み重ねがとても大切です。4 Rをみんなで実践してごみを減らしましょう。

【私たちにできること】

- マイバッグを持参し、レジ袋や包装紙は断る
- 必要な物・量だけを買う
- 生ごみは水切りを十分に
- 洗剤などは詰め替え用があるものを選ぶ
- 過剰包装の商品は避ける
- 使い捨てではない容器を選ぶ(ビンなど)
- 着ない服などはフリーマーケットなどで人に譲る
- 修理して繰り返し使う
- ごみはきちんと分別し、資源ごみ(ビン・缶・ペットボトル・古紙)として出す。
- リサイクルで生産された商品を選ぶ など

